



コロナ禍における学習や行事についての考え方

1. 感染症対策に留意しつつ、実施できるように

政府は、新型コロナ対策の基本的対処方針を変更し、マスクの着用について、屋外では、周りの人との距離がとれなくても会話をほとんど行わない場合は必要ないなどとする旨が、メディアで見聞きするようになりました。学校での学習や活動においては、コミュニケーションをとる機会が多く、また大切なことから、一律の対応は難しいと思っはいますが、何よりも、実施したい学習や活動、行事が広がっていくことに期待しているところです。

6月は、3年生の修学旅行(東京方面)、部活動の中体連の大会、7月は、2年生の名古屋研修を予定しており、少なからず生徒も楽しみにしているこれらの行事を予定通り実施できればと願うばかりです。

特に、行事については、新型コロナ対応のために、単に実施か中止かにとどまらず、実施の目的や方法について再度考え直すきっかけとなっています。「例年実施しているから」ではなく、必要性や有用性を考えるきっかけとなったことは確かです。各学年で実施した「志授業」や2年生の「職業講話」「岐阜県の歴史探訪」、1年生も含めての「講座、あなたも社長になれる、起業家から学ぶ」「高校について知る」、1年生独自の「羽島市の魅力探訪」など、多くのキャリア教育を実施してきました。とは言え、新型コロナ対応前から、各学校は文部科学省や岐阜県教育委員会、羽島市教育委員会の指導により、行事の見直しやスリム化といういわゆる行事の精選にも取り組んできています。中央中学校においても、2日でおこなっていたものを1日でできないか？1日かけていたものを半日でできないか？との検討がなされ、1・2年生で実施していた宿泊研修が、宿泊重視ではなく、キャリア教育のための研修となってきた過去の経緯があります。学校としては、こうした世の中のニーズや子供が身に付ける力も踏まえた行事の在り方を考えていく必要があり、様々な知恵を出していかなければなりません。

今年度の後半に予定している行事については、新型コロナウイルス感染の状況を確認しつつ、実施方法や実施の可否を検討していきたいと思ひます。

また、来年度以降の行事については、PTA役員の皆様や保護者の皆様のご意見も伺いつつ、新型コロナ対応で工夫した方法や実施方法などを生かして、子どもたちにとって学びと充実感ある行事を考えていく予定です。



2. 保護者クラブから地域クラブへの移行について

スポーツ庁を中心に、クラブ・部活動のあり方が全国的に検討されるようになりました。羽島市においても、竹鼻中学校が先行して、保護者クラブを地域クラブに移行しました。市内の各中学校、スポーツ推進課、教育委員会も、令和5～6年度を目途に、保護者クラブを地域クラブ化していくための動き出しをしています。令和4年度は、そのための情報共有と基盤づくりをおこなっていきます。

しばらくの間は、移行のための過渡期であることから、現在の保護者クラブと変わらない状況となるのではないかと予想しています。土日の活動を地域クラブと銘打って活動すること、予算・会計処理の流れなどがこれまでとは変わること。クラブの指導者を探す必要がある時、スポーツ村の協力が得られること。今後、学校にはない種目についての活動、他校との合同チームなどの選択肢が増えていき、より実態に即した活動が可能になるのではないかと期待しています。

≪6月の予定≫

日	曜	主な活動・行事	日	曜	主な活動・行事
1	水	45 分日課 歯科検診(欠席者) テスト1週間前	16	木	3 年進路説明会
2	木		17	金	部活動壮行会
3	金	中体連羽島ブロック大会理事会・顧問会議	18	土	わたしの主張 2021 羽島市大会(2・3 年)
4	土		19	日	家庭の日
5	日		20	月	
6	月	心電図検診(1 年) 口座振替	21	火	羽島市教育研究会(教科研究会)
7	火	中間テスト1日目①②③テスト ④学	22	水	3年修学旅行1日目
8	水	中間テスト2日目①②テスト③④授業	23	木	3年修学旅行2日目
9	木	校長会(中央中)	24	金	3年修学旅行3日目
10	金	教育実践観察(特別授業公開)	25	土	中体連羽島 B 大会(陸上競技、野球、ソフトテニス女子、卓球、)
11	土		26	日	中体連羽島 B 大会(野球、ソフトテニス女子、卓球、剣道)
12	日		27	月	
13	月		28	火	
14	火	尿検査(予備日) 3 年生職業事前講話(オンライン)	29	水	
15	水	⑤全校研究会(1 年 4 組技術) PTA 高校見学	30	木	生徒会レク

■引き渡し訓練

今年も「南海トラフ地震」、「豪雨災害」等が心配される中、5月28日の土曜授業では、中央小中合同の「引き渡し訓練」を行いました。保護者の皆様にとっては、様々な場面でご配慮をいただき、ありがとうございました。10 時 10 分から始まり、12 時頃の約 2 時間で、無事全校生徒の引き渡しを完了しました。

今後は、東日本大震災から学んだことを生かして、中学生として何ができるのか、地域災害時の避難の仕方や地域貢献等の動きを考えながら、「命を守る訓練」を実施したいと考えています。



■ICT (Information and Communication Technology)の活用

国の GIGA(Global and Innovation Gateway for All)スクール構想の下、市内全小中学校の生徒に対して、一人 1 台ずつ iPad が貸与されました。各教科の授業や総合的な学習、生徒会活動、自宅学習において、個別学習やグループ交流等で有効に活用しています。

中央中では、コロナ感染症対応等にかかわって、オンライン学習も積極的に実施してきました。自宅でも学校や学級の仲間とつながって学習を進めています。現在、コロナ感染症が少しずつおさまリ、学校生活にも日常を取り戻しつつあります。各教科の授業では、コロナ感染症に十分配慮しながら、対面学習やグループ学習もはじめています。



さて、ICTは、大変便利で、将来を担う生徒たちにとって、今後も日常生活になくはならないものになっていきます。反面、高価な物であり、またインターネットなどを通して世界中のだれとでもつながり、利用方法を間違えると犯罪に巻き込まれる危険性もあります。メディアリテラシーについても十分に学び、身に付けるよう指導しています。今後の活用に向けて家庭と学校が連携して取り組むことが大切です。ご家庭でも話題にいただき、お子様へのアドバイスや見届けをよろしくお願いします。

